

〔41 釈 文〕 吾妻郡羽根尾村鉄炮改め上申書

(寛政元年：一七八九)

(端裏書) 「寛政元年酉三月 鉄炮御改書上 下書」

乍レ恐書付以奉ニ申上一候

一此度鉄炮証文御改被ニ 仰付一

奉レ畏候、拙者共村方之儀者、去卯年

大変ニ而流失仕、其後、鉄炮所持

仕候者、決而無ニ御座一候、依レ之書付奉ニ

差上一候所、依如レ件

上州吾妻郡

羽尾村

寛政元年酉三月 名主 治右衛門

組頭 治兵衛

百姓代 浅右衛門

篠山十兵衛様

御役所

【41読み下し文】

〔端裏書〕「寛政元年酉三月 鉄炮御改め書上 下書」

恐れ乍（なが）ら書付を以（もつ）て申し上げ奉（たてまつ）り候  
一此の度、鉄炮証文御改め仰せ付けられ

畏（かしこ）み奉り候、拙者共村方の儀は、去る卯年  
大變にて流失仕（つかまつ）り、其の後、鉄炮所持  
仕り候者、決して御座無く候、これに依り書付  
差し上げ奉り候所、依（よつ）て件（くだん）の如し

上州吾妻郡

羽尾村

寛政元年酉三月

名主	治右衛門
組頭	治兵衛
百姓代	浅右衛門

篠山十兵衛様

御役所